

Esthetic Explorers

2012年2月定例勉強会のお知らせ

日時 2012年2月26日(日)

13:30～16:30 ※開場 13:00

演者 新藤有道先生 (岩本町デンタルクリニック)

「インプラント治療における位置異常歯の把握の重要性」

蓮池聡先生 (日本大学歯学部 保存学教室 歯周病学講座)

「再生療法への低出力超音波パルスの応用に向けて ～基礎的基盤の確立～」

内藤孝雄先生 (五十嵐歯科医院)

「全顎補綴の臨床」

三好大介先生 (a-zoth dental lab)

「機能美」

会場 富士ソフトアキバプラザ EX ルーム

※JR 秋葉原駅(中央改札口)より徒歩2分

<http://www.fsi.co.jp/akibaplaza/cont/info/access.html>

定員 60名

参加費 無料

※EE 会員・非会員共に年会費 7,000 円を、

申込期限迄に銀行振込にてお支払い下さい。

振込先 三井住友銀行 笹塚支店 (普) 3611638

イーイージムキョク カイケイ ミヤネ タカシ

名義 EE 事務局 会計 宮根 崇

懇親会 17:00 より秋葉原にて懇親会を行います。

参加費は講演会受付にて集めます。

申込期限 2012年2月10日(金)

申込先 Esthetic Explorers 事務局

〒151-0073 渋谷区笹塚 1-62-7-1004

有限会社ファクト 内

TEL 03-5304-9310 FAX 03-5304-9312

e-mail esthetic.ex@gmail.com

会場地図



2012年2月26日 EE定例勉強会 参加申込書

(ふりがな)

【氏名】

【勤務先名】

〒
【勤務先住所】

【TEL】

【FAX】

パソコンまたはスマートフォン

【e-mail】

【懇親会】 参加 ・ 不参加

「インプラント治療における位置異常歯の把握の重要性」

新藤 有道

『欠損補綴』の目的は“失った組織を失った分だけ復元し、失った諸機能を回復すること”である。歯牙を失うことにより、それを支える組織（歯肉・歯槽骨）も失い、またそれらが担っていた機能も失う。欠損補綴のオプションである全部床義歯や部分床義歯では、歯牙を人工歯で、歯肉や歯槽骨は義歯床で補っている。また近年、ブリッジやインプラントにおいても顎堤の喪失部分も積極的に補われるようになってきている。しかし喪失前の元々の状態に戻すのが良いのか？というところは疑問である。元々何か問題があったから歯牙を喪失してしまったのである。何らかの問題で炎症のコントロールや力のコントロールがなされていなかったため、恒常性が保たれず、破壊の方向に進んでしまったのである。

様々な症例を見てみると喪失の原因に歯牙の位置異常（当該歯や対合歯や隣接歯の傾斜、挺出、捻転など）が影響していることが多いように感じます。また要抜去歯の位置異常に伴い治療後の顎堤も変化していることが多く、補綴に不利な条件になっていることや、逆に好条件になっていることもある。欠損を人工物で修復する際、その位置異常を是正し、人工物にとってより良い環境を作るあげることが重要である。

今発表では喪失の原因に歯牙の位置異常が考えられる欠損部にインプラント修復を行った症例を提示し、術前の診査・診断により位置異常を把握し、いかに治療術式に反映したかを述べさせていただきます。

「再生療法への低出力超音波パルスの応用に向けて ～基礎的基盤の確立～」

蓮池 聡

歯周治療やインプラント治療において、歯槽骨を再生させるために様々な方法が臨床で用いられてきた。近年、機械的な刺激を加えることで骨再生を図る方法が注目されている。その一つの方法として超音波の応用があげられる。なかでも、低出力超音波をパルス状にした低出力超音波パルス（low-intensity pulsed ultrasound：LIPUS）による刺激では、骨表面で発生する微小な機械的刺激が骨ならびに周囲の細胞群に影響を及ぼすと考えられている。私の所属する日本大学歯学部歯周病学講座では、LIPUS 刺激を応用した再生療法を確立するための基礎的研究を行ってきた。本発表では、これまでの研究から得られた知見を報告する。

「全顎補綴の臨床」

内藤 孝雄

口腔内の補綴には、少数歯から多数歯もしくは全顎にわたる症例があります。この中で多数歯や全顎における補綴を行う際は、今の顎位を変更しないで行う場合と顎位を変更して補綴を行う場合に分けられます。後者の場合は、主にスタビリゼーションスプリントにより安定が得られた顎位をプロビジョナルレストレーションに置き換えて治療を進めてゆき、さらに最終補綴へと移行していきます。しかし、このスプリントによって得られた顎位を、いかに正確にトランスファーしていくのかという明確な方法が見当たらないのが現状です。

そこで現在、五十嵐歯科の五十嵐洋先生が行っている方法を、技工操作を通して皆様と一緒に考えるとともに、最終印象方法やバイト採得法やその材質についてお話し、補綴技工操作がスムーズに行え、再製が入らないために何処でどの様にリマウントを行っているかということも、臨床例を通してお話ししていきたいと思います。

Esthetic Explorers

2012年2月定例勉強会 会場地図



富士ソフトアキバプラザ EX ルーム
 東京都千代田区神田練堀町3
 富士ソフト秋葉原ビル 7F
 TEL : 03-5209-6285
 FAX : 03-5209-5261

秋葉原駅からの所要時間

- ・ JR 秋葉原駅 中央改札口より徒歩 2 分
- ・ つくばエクスプレス秋葉原駅 A3 出口より徒歩 1 分
- ・ 日比谷線秋葉原駅 2 番出口より徒歩 3 分

1F エレベーター乗り口のご案内



EX ルームは

1F のファミリーマートの前にある E または F のエレベーターで 7F です。

← A3 出口または御徒町駅方面より

セミナールーム、レセプションホールへお越しの方
 アキバプラザ5階レセプションホール、
 6階セミナールーム、7階EXルーム、プレゼン
 ルームへは、E、Fのエレベータをご利用ください。

↑ JR 秋葉原中央改札方面より